

報告1 酒々井町町制施行125周年について

町制施行
125周年

酒々井町は125年の歴史をもつ

日本で一番古い町です!

町の魅力を情報発信

酒々井町は、明治22年の町村制施行により近隣16か町村が合併し、「酒々井町」が誕生しました。以来、一度も合併することなく独立独歩の道を歩み続け、平成26年4月に125年を迎え、群馬県長野原町とともに全国で最も古い歴史のある町となりました。

—特別記念感謝状を贈呈—

町では、町制施行125周年にあたり、春には「しすい・ハーブガーデンまつり」や「順天堂大学裸まつり」を、夏には「平和を考える演劇会・朗読会」を、秋には「ふるさとまつり」など様々な通年事業を記念事業として実施し、また、町外の各種イベントなどにも積極的に参加し、「日本で一番古い町」をアピールしてまいりました。



また、今年2月には、永年ボランティア活動等により町勢の振興発展にご貢献いただいた皆様に特別記念感謝状を贈呈するとともに、町のさらなる発展のためにお力添えをいただくようお願いしました。

—交流人口や定住人口の確保に努めます—

さらには、官民協働による「町勢要覧・くらしの便利帳」を作成して住民生活の利便性の向上を図るほか、「記念リーフレット」や町を紹介する「プロモーションビデオ」により広く情報発信してまいりました。

今後も町の情報発信に努め、少子高齢化社会に対応した「100年安心して住める」高品質なまちづくりを推進し、交流人口や定住人口の確保に努めてまいりたいと考えています。



町勢要覧・くらしの便利帳

※町勢要覧・くらしの便利帳は、町ホームページから閲覧できます。

報告2 80歳の青年式および酒々井町盛年式について

80歳-青年式

60歳-盛年式

～住み慣れた町でこれからも
いきいきと暮らすために～



- 初開催 80歳の青年式49名参加 -

水仙クラブ連合や健康推進員協議会の役員などによる懇談会を開催し、開催要領などについてご意見をいただき、80歳の方146人をご招待して、昨年11月18日、中央公民館講堂で開催しました。

式典では、80歳以上で平成25年度中に介護保険などを使わなかった30の方に、顕彰状と記念品の贈呈、健康の秘訣の発表、順天堂大学の学生によるリズム体操を行いました。

当日は、80歳以上の方45人、顕彰状贈呈の方4人に出席いただきました。



- 酒々井町盛年式では学びへの招待 -

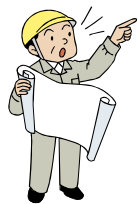
次に、平成27年2月15日に実施した酒々井町盛年式では、60歳を迎えた方の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生を充実させるための学びへの招待や、個々の培った力を地域で発揮するための契機の間として開催し、231名の対象者のうち72名の参加がありました。

式は、酒々井中学校吹奏楽部による演奏に始まり、主催者式辞および来賓挨拶のあと、学校支援コーディネーター・大室亭絶好調の山岸文雄氏による「プラスアルファは優しく、楽しく、自分らしく」と題された記念講演と落語が披露され、酒々井町で活躍するまちづくり団体と公民館事業である「しすい青樹堂」の紹介がありました。



その後行われた交流会では、ワークショップ方式で酒々井のよさをテーマに話し合いが持たれ、発表では「酒々井町の良さをあらためて知ることができた」「たくさんのまちづくり団体があることを知り、今後自分も参加していきたい」等の声を聞くことができました。

報告3 ファシリティマネジメント及び分庁舎の進捗状況等について



災害対応の中核拠点となる

国道51号側に
2階建て

役場分庁舎を建設中



災害対策本部室、防災無線室、会議室、太陽光発電設備・蓄電池・非常用発電機などを整備

- 公共施設等の総合管理計画策定へ -

町では経営的な視点から施設運営に要するコストの最小化や施設利用効率の最大化と社会情勢の変化への柔軟な対応を図り、健全な行政運営と住民サービスの向上を図ることを目的としてファシリティマネジメントに取り組んでいます。

その取り組み状況は、椅子に座って申請等ができるよう窓口カウンターの改修や、快適で魅力的な施設を目指すとともに省エネルギーと節水を図るため、中央庁舎のトイレ改修工事や空調設備機器更新工事を実施しました。また、各公共施設の安全性を確保するとともに施設及び設備の不具合により業務が停止することのないよう「施設管理者のための点検マニュアル」の試行版を作成し、日常点検については職員で対応できるよう取り組んでいるところです。

さらに、施設、道路及び橋梁に関する将来の維持管理費等の概算推計を行い、公共施設等総合管理計画の策定作業を進めています。

- 分庁舎建設は順調 ー環境にも配慮ー

次に、分庁舎工事の進捗状況については、躯体工事は本年3月中に2階まで立ち上がり、コンクリートが打ち終わる予定であり順調に進んでいます。

この分庁舎は、災害対応の中核拠点として、1階には防災無線室を備え、常時、防災啓発が可能な会議室を整備していきます。配置する課については、災害発生時に主要な役割を担う課を配置し、災害対応を密接に連携できるようにしたいと考えています。

- 2階は会議室・多目的室など -

2階は、平時は、会議室及び多目的室等として使用し、災害発生時には災害対策本部室、小会議室及び報道対応室等として使用し、また、状況に応じて被災住民相談対応や迅速な意思決定ができるように議会の開催も可能なスペースを確保します。

その他、災害対応機能では、業務の継続（BCP）を念頭に、太陽光発電設備及び蓄電池並びに非常用発電機の整備により電源の多重化を図り、停電した場合でも災害対策の業務を継続できるよう整備を進めています。

また、高齢者や障害者など様々な人の利用に配慮し、ユニバーサルデザインの理念を取り入れ、エレベーター、スロープ及び多機能トイレ等を整備するとともに、環境への配慮として、照明器具には人感センサーや調光機能付きのLEDを設置し、節水型トイレ、省エネ型エアコン、屋上は断熱性能の高い防水仕様とするなど省エネルギー化を図るものとして、人と環境にやさしい施設づくりに取り組んでいるところです。



報告4 平成27年度子ども・子育て事業関係について

4月から

「子ども・子育て支援新制度」



保育料の引き下げ・保育利用時間の延長など



サービスの充実を図ります！

- 保育園利用時間8時間から11時間に -

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。それに伴い、保育園の利用可能時間帯は8時間から11時間になり、土曜日は中央保育園と岩橋保育園で終了が午後3時から午後6時までに、また、延長保育は岩橋保育園で平日最大午後8時までになります。

町の保育料については、現行の保育料より保護者の負担の軽減が図られるように、国基準利用者負担額の階層内の分割を行い全体的に引き下げ、さらに所得の少ない階層について配慮したところです。また、幼稚園の利用者負担額も、保育園利用者負担額の階層区分に合わせて、国基準利用者負担額を限度に、保護者の所得に応じて設定しました。なお、幼稚園の利用者負担額については、新制度に移行する幼稚園が対象になります。



- さらに地域の子育て支援充実へ -

さらに、地域の子育て支援の充実を図るため、一時預かり事業の利用日数を増やし、新規の地域子育て支援拠点事業では、子育て世代を包括的に支援するため、あいあいルームで子育てに関する相談や情報提供、また親子で楽しめる催しを行うために、専属スタッフを週3日配置してより細かな対応ができるようにします。放課後健全育成事業では、小学校6年生までの児童の受入れに対応していきます。

このほか引き続き、生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を保健師・助産師・健康推進員が訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等を把握する乳児家庭全戸訪問を行います。

また、必要に応じて養育に関する相談、指導助言等の養育支援訪問を行います。

報告5 小中学校太陽光発電設備の運用状況について



小中学校

エアコン稼働による電気量

太陽光発電設備設置により

20%
ダウン

昨年4月から稼働した、小中学校太陽光発電設備の発電については、季節や天候の影響もありますが、これまで順調に稼働し

ています。

小中学校に設置したエアコンの稼働により、平成25年度の東京電力からの受電量は、小中学校の合計で約35パーセント増加になりましたが、平成26年度からの太陽光発電の電気供給により小中学校の合計で約20パーセント東京電力からの受電量を下げています。

太陽光発電設備は、小中学校の電気代の経費節減、災害時の緊急用電源の確保や、環境負荷の低減に寄与しています。

今後も、環境教育の教材としての活用、節電意識向上に努めてまいります。

報告6 優良公民館表彰について

酒々井町
中央公民館

文部科学大臣より

優良公民館表彰受賞



- カレッジコースと青樹堂が地域の学習活動に大きく貢献 -

酒々井町中央公民館では、全国の公民館等の中で、カレッジコース及び青樹堂の活動が特色ある事業として地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められたことにより、平成27年3月4日文部科学省において、文部科学大臣より優良公民館表彰を受賞しました。

この慶事はひとえに生涯学習の振興、公民館活動にご理解とご協力を頂いた町民各位、並びに関係各位の方々のご理解とご協力の賜物であり感謝いたします。

これからも酒々井町の生涯学習推進の為「まなび・つどい・むすぶ」をテーマに公民館事業の充実を図ります。